

今回は 夏休みに行われた関ジモト大学 の報告(その38・39)です。

## ◇ オンラインセミナー「関ジモト大学2021 online」

今年度は、昨年度に引き続きオンラインセミナーを実施しました。関市で活躍する「せき・まちづくりNPOぶうめらん」が主催する「関ジモト大学online」の場をお借りして、関市内の45企業と各企業のSDGsに関わる取り組みについての話を聞き、生徒が意見交換を行いました。

## ◇ 企業紹介

### 【尾藤法律事務所】

企業に対しては、取引先との法的トラブルのアドバイスや契約書のチェックなどを行い、一般の方からは、交通事故から相続・離婚などの生活に関するトラブルの相談と裁判における代理人としての活動等を行っています。その他、犯罪者として疑われている方の弁護活動も行っていきます。



【HP】 <http://gujohachiman-lawoffice.com/>

SDGs	取組中					今後の目標			

## ◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・初めて知ったことがたくさんありました。私は、弁護士の方は俗に言う、悪い人の弁護をして罪悪感を覚えたり、気分が落ち込んだりすることはないのかと不思議に思っていたのですが、尾藤さんは、その人の国が認めた最後の味方であるという使命感や、どんなことにも理由があるので、それを理解することで自分のやるべきことをこなしていると分かりました。私は少し前まで弁護士という仕事に興味があって、色々調べていましたが、今回の講座で初めて知ることが出来たことが沢山あったのでとても良い経験になりました。

・依頼者さんのこれからの人生に大きく関わり、どんな依頼でも大きな責任を背負う弁護士の貴重な話が聞けてとても嬉しかったです。尾藤さんの話を聞いて、責任は大きくても自分の仕事にやりがいを持っていることが話の内容だけでなく、話している時の楽しそうな雰囲気からも伝わりました。自分も誰かの役に立ち、自分の仕事に大きなやりがいをもてるようになりたい改めてと思いました。

・今まで法律とは裁判などの身近ではない存在であると考えていました。しかし尾藤さんの話を聞いて決してそれだけではないと知りました。尾藤さんは裁判などを扱う弁護士ではなく、地元

の人の法に関わる悩みを解決するために働いているそうです。僕は尾藤さんの仕事内容、やりがいを聞いて、地元の為に働くということはとても素晴らしいことだと実感することができました。

・弁護士という仕事には、興味があったが、今回のことを通してその興味が一層深まった。弁護士はとても責任重大な仕事だが、やりがいもその分大きい仕事だとおもった。弁護士は”国が認めた最後の味方”と尾藤さんは表現していて、これに僕はなるほどと思った。最後の味方だから、たとえ依頼人が世間から悪人と言われる人でも最後までその人のために弁護をすることができて、そのことに対して罪悪感も生まれないのだなと感じた。また、ドラマとは違い、嘘をついてまで被疑者の罪を軽くしたり、訴訟に勝ったりはしないということが知れて安心した。

・普段、弁護士の方の話を聞くことがなかったとので、とても新鮮でした。また、弁護士の方の仕事上、知らない方を全力で助けなければいけないということがとても難しそうだと感じました。しかし、弁護士の方は思い入れをしない方がいいということに驚きました。

・弁護士の仕事は昔から興味があって、ドラマなどで見て冤罪の人を無罪にして、カッコいいと思っていた。しかし、実際は裁判だけが仕事ではなく、無罪になる事はとても少ない事に驚いた。理系の大学に進んでも弁護士になれることに驚いた。普通に生きていたら知ることの無い弁護士の裏側を知ることができたのでとても楽しかった。



・弁護士の仕事は、裁判と法律相談くらいだろうと考えていましたが、弁護士会の仕事など、思っていたより盛りだくさんで驚きました。大変そうに感じましたが「仕事の全てにやりがいがある」とおっしゃった尾藤さんはすごいと思いました。今回お話を聞いて、弁護士の仕事をある程度理解でき、ますます弁護士に興味を持つことができました。

## ◇ 企業紹介

### 【土屋司法書士事務所】

法律は私たちの生活とは切っても切れないものでありながら、なかなか馴染みにくいものだと思います。当事務所では法律が皆さんの味方となるよう日々お手伝いをさせていただきます。



SDGs	取組中		今後の目標	
------	-----	---	-------	--

## ◇ 関ジモト大学を受けて 生徒の感想

・最近よく聞くLGBTに加えて、Qについて学ぶことができました。アウティングなどの専門用語についても知ることができました。良かれと思ってやったことだったり、無意識のうちにやってしまったことだったり、相手を傷つけてしまうことに気がつきました。また、当事者の数を聞いて、他人事で片付けられるような問題ではないので、個人個人がしっかりと考えていくことが、

これからの時代大切だと思いました。勉強になりました。

・司法書士という仕事は思っていたよりも私達と身近にあるのだと思いました。法律についてより知りたいと思いました。司法書士が法律に関わる仕事だとは知っていたけれど、今回の講座でたくさんの事を知ることが出来ました。例えば、司法書士は相続の仕事がほとんどで、今は関わることはほとんど無いけれど、将来関わるかもしれないので、今から司法書士の仕事を知っておいて損は無いなと思いました。また、今まで不動産と聞いてあまりピンと来なかったけれど、不動産とは土地や建物のことで、自分が生活をするために欠かせないものだと知り、司法書士の仕事はとても重要なのだと感心しました。

・全く司法書士についての知識がない状態で参加しましたが、士業とはどんな仕事をしているのか、SDGsに関わる司法書士業界としての活動や個人としての活動が沢山あって、民間のために動いていることを知ることができて良かったです。裁判系のドラマで観る弁護士の影響もあり、士業といえば弁護士！という感じだったのですが、今回話を聞いて、見えないところで社会に貢献したり利益をもたらしたりして司法書士もかっこいいなと感じました。

・土屋司法書士事務所の講座では基本業務、士業について話を伺った。司法書士の仕事の多くは、家を建てる時などの不動産関係、親族が亡くなったときの相続である。このような、大きなお金が動く場面での手続きに関与する。士業については、日本国憲法の中に職業選択の自由が定められている中、条件を満たした人しか就くことのできない職業であると仰っていた。士業の重要性、それによって我々の生活が守られていることを学んだ。

・学生である自分にはあまり接点のない分野でしたが、今回のお話を聞かせていただくことで、新しい視点から物事を感じることができるようになりました。世の中を縛っている法律とはどのようなものか、それに対する認識や考えが自分とはかけ離れていてとても楽しい体験でした。職業柄少し重たいところがあるけど、お客さんの笑顔がやりがいだというところを直接聞くことができて光栄でした。今回の講座を通して新しい分野に興味を持つことができてよかったです。貴重な体験ありがとうございました。

・僕は司法書士について知らなかったけれど、司法書士は、士業の一つで身近に住宅購入の時や相続などの業務を行っているということを知った。また、その他にもSDGsなどの社会貢献活動で学校や児童養護施設で法教育をしたり、社会的弱者や生活保護者の支援をしたり、法律相談会を開くなどを無償で行っているということを知って、より司法書士を身近に感じるようになりました。

・今まで司法書士について深く考えることはなく、どんなお仕事内容なのかも知らなかったけれど、今回通して司法書士は土地や遺言などの相談から解決までを行っていてとても大変な仕事だと思った。今回お話ししてくださった方は、都会で司法書士をすると儲かるけれど、敢えて、武儀で仕事をしているとおっしゃっていて、お金の事でなく、沢山の人を助けたい！と言う気持ちで働いていることに、心から尊敬した。今回少しでも悩み事があたら一人溜め込まず、司法書士さんに相談するという手段もあることを学び、いい経験になったと思う。私もお金のためではなく人を助けるために、一生懸命働いていきたいと思った。